

故 大森 輝夫 編集委員・元理事 の足跡



先月号に引き続いて、医療福祉生協の情報誌「コムコム」に掲載された投書を取りあげます。

▶2021年2月号

11月号の「協同のある風景」で取り上げられていた医療生協さいたまの「フードパントリーみぬま」の活動は、地域の元気づけに役立っています。

けいはん医療生協でも昨年「虹のまつり」でフードドライブにとりくんできました。今年はコロナ禍で「まつり」が中止となりましたが、フードドライブだけは続けようと、「うちに眠っている食品をお持ちください」と呼びかけています。



生活困窮者や子ども食堂に届けたいと思います。“医療生協さいたま”ほどのとりくみにはならないと思いますが、これを第一歩にしたいと思っています。

▶2021年6月号

福島第一原発事故から10年が経ちましたが、溶け落ちた核燃料の取り出しは見通しがたっていません。汚染水も増え続けています。

3月号の特集の関礼子さんの記事は胸にスキーンとききました。「ふるさと喪失」ではなく「ふるさと剥奪」と呼ぶうる事態は、今行われている復興が住民のためになっていないことを浮き彫りにしています。

「復興どころか、どんどん痩せ細っていく」とは胸がいたみます。原発事故で「やっぱり危ない」と主張してきた市民の科学が正しかったことが証明されました。

成田 支部 組合員アンケートのこれから

支部長 久澤 久子

すでに本ニュースで紹介いただきましたが、支部として組合員アンケートを実施しました。組合員のコロナ禍での生活の変化や不安を感じていること、またそんな中でも前向きに行動しようとしている実状を知ることができました。アンケートを実施して、本当に良かったです。

今後は1回目の反省もふまえて、残りの地域に対して、秋の強化月間の組合員訪問

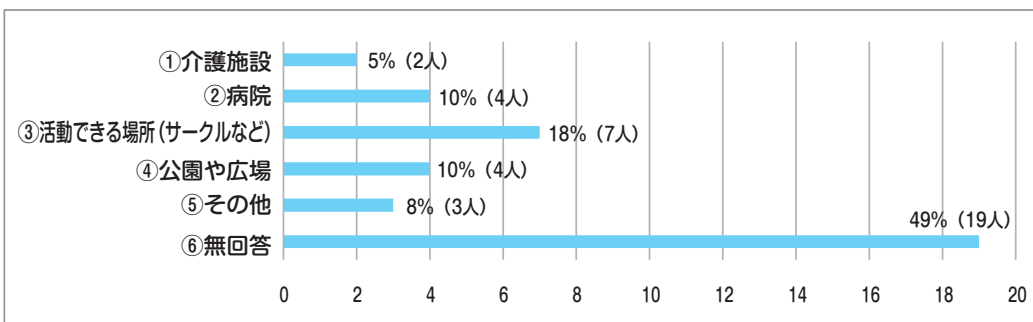
と合わせてアンケートのお願いにいくことを決めました。

前回までアンケートの最後、「こんな地域になって欲しい」という項目に記入していただいた内容についても、今回実施するアンケートとあわせて、これからの成田支部として地域とつながっていく行動ができるよう、運営委員会でサポートセンターの力も借りて、考えていきたいと思ひます。

▼アンケート結果分析の一部

(6) その他
あなたの地域に「こんなものがあつたらいいな」「こんな地域になって欲しいな」と思うものはありますか？
・それは「どんなもの」ですか？

㊲ 特にある【20人】 / ㊱ 特にない【16人】



(7) どんな地域になって欲しいですか？

- お店が少なくドラッグストア、スーパーがもう少し多くなって欲しい
- コンビニが欲しい (成田町の方)
- 道路が狭いので、自動車・自転車スピードで走り何度も怖い目にあつた。標識でも立てて欲しいです。
- 成田地域は坂が多く、みい診療所の利用が厳しいと感じます。検診時に車の送迎があれば良いと思います。
- 若い子育て世帯が増えてきている。けいはん医療生協を知って欲しい。年配者との交流を考えたらと思う。

ご協力ありがとうございました。(けいはん医療生協 成田支部運営委員会)

けいはん医療生活協同組合
スタッフ 大募集!!
介護福祉士・ヘルパー2級
初任者研修・実務者研修修了者
★無資格・未経験の方も大歓迎!!
お気軽にお問い合わせください
☎072-882-5095

伝言板
法律相談(要予約)
日曜健診(完全予約制)
ハイキング同好会
組合員現勢
2022年9月1日現在
世帯数 8,488世帯
組合員数 12,188名
出資金 4億71,930千円

おおさかまるごと健康チャレンジ
ジュニアチャレンジに約1200人
今年度で7年目となる「おおさかまるごと健康チャレンジ」ですが、5年前から、寝屋川市内の小学校が参加。当初教育委員会にも申し入れを行い、2校から始まったジュニアチャレンジでしたが、今年度はさらに2校が参加し、計7校(約1200人)の生徒・教員がチャレンジします。

大阪40万筆署名にご協力を
国は大阪のカジノ誘致計画を認可しないで
大阪カジノ計画、おかしい!! カジノを止めよう!
春に取り組まれ、21万筆を集めた、府に対する直接請求「大阪カジノの是非を問う住民投票条例案」は7月29日の臨時大阪府議会で否決されました。これは民意を無視する暴挙です。国に提出されたカジノ実施計画に、住民の「合意」は存在しません。

暮らしの健康教室
スケジュール
10月29日(土)10時 医療現場の取り組みと諸制度
11月26日(土)10時 介護現場の今~制度とサービスの間で
12月24日(土)10時 実践交流
会場
本部・多目的室
いきいき広場
虹のひろばなど

各市独自の介護保険事業運営へ

門真市、守口市、四条畷市は、介護保険制度スタート時から広域連合で介護保険事業を行ってきましたが、1年半後から各市で行うことになりました。

これにより市民の声をダイレクトに反映しやすくなります。しかし他市に比べて22年遅れで体制を整えなくてはならず、課題は山積しています。

今、くすのき広域連合の介護保険料は府下第5位の高さであり、減免制度も不十分です。また、各市での運営となった場合に、「介護保険の認定申請から介護サービス開始までどれくらいの時間がかかるのか」など、住民の不安は大きくなっています。

門真市、守口市に組合員・住民の声を、今こそ大きくあげていくことが大切です。けいはん医療生協は、各市の社会保障推進協議会とともに、取り組みを強めていきます。



くすのき広域連合解散

2024年3月

今こそ住民の声を大きく



門真 キックオフ集會に参加して
「人のために働くことが生きがい」と言われた、仲間増やしの先頭を走る尾崎理事の話に感動しました。仲間ふやし、健診案内、健康チャレンジを柱に、1日3時間以上の声掛けの成果が実ったものと思われまふ。

集會では準備の重要性も強調されました。9月16日、エナジールにて、守口キックオフの集いを開催。イロ

や、健診案内パンフなど、参加者の確保、訪問先の絞り込みなど準備を充分に行い、月間の活動を支部一丸となってやり切る決意を固めました。(門真中央支部 東野 朝男談)



熱弁をふるう濱田さん(守口キックオフ)

八学習会動画視聴の後、「けいはん医療生協の歴史を未来に繋ぐ、大先輩に聞く」と題して、濱田幸子さん(守口東)のお話をみんなで聞きましめた。魅力的な人たちのめぐりあい、ボランティア、建設運動等々の多彩な話で意見交換。それを受けて、強化月間方針が提起され、最後は濱田さんを囲んでの記念撮影となりました。